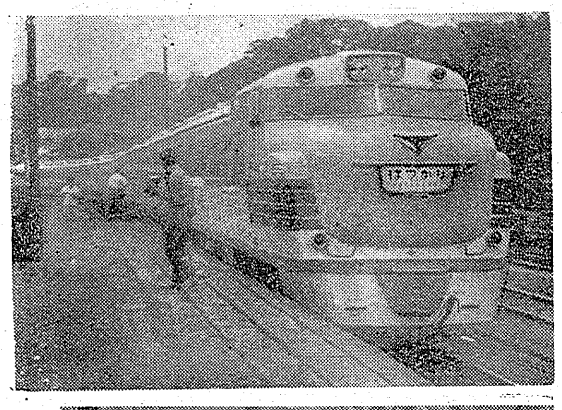
常磐毎日
発行所　平市田町7番地　常磐毎日新聞社
電話（代表）2104番 2105
本社　平市二の二九（本町通り）
カノウタ
読売（午前）電話（平）三五五
分売（午後）常磐毎日（常磐）四〇一
叶産婦人科
電話（平）三五五

超デラックス特急

〝はつかり〟試運転上々



上野―青森間を結ぶ国鉄初のディーゼル特急「はつかり」の試運転が十八日常磐線で行われた。はつかりは従来まで東海道線の旧車輌を使用していたが、昨年暮一億五千万円で新ディーゼル車（九両編成）が完成したので試運転が行われたものであるが、十二月一日から常磐線に投入される。

試運転には運輸機関区の木村庄司機関士ら運転、平駅に午後一時四十八分すべり込み秋山平駅長らの歓迎を受けて十分間停車したあと仙台に向った。

このディーゼル特急は一千五百二十馬力、二等車二輌、二等車六輌、食堂車一輌の九輌編成で定員四百六十四人前後部の形や

幼女ひかれ即死

勿来　魔の国道でまた惨事

魔の直線コースとして恐れられている勿来地内の六号国道で道路を横切ろうとした幼女が砂利トラックに轢かれ即死するという惨事が起った。

十九日午前九時五十分ごろ勿来市植田町字小浜地内国道を通行中の国学院高等部二年生の同校生徒小野田巡査（二五）の長女和子ちゃん（三）は路の向い側にお友だちの家子ちゃんが居るのを発見横断しようとしたところ勿来市から内郷市に向って疾走して来た、内郷市宮代町砂利業営永有年さん（三〇）の運転する大型トラックに轢かれ即死した。この大型トラックは勿来市沼辺町から砂利を満載して来たもので約二千メートル手前で和子ちゃんを轢いてしまったもの。なお同小野田巡査は勿来署交通係で、事故現場に急行した。

漁船の事故二件

今夕無事救助の予定

十八日午後五時五十分ごろ銚子海上保安部より小名浜海上保安部に入った連絡では、磐城市下町田中辰次郎さん所有サンマ鰯第十一福鯨丸（一五トン）＝船長宮川友治郎さん外十二人乗組み＝は花咲港を十七日出港、十八日正午ごろ花咲港より六マイル沖の海上で機関に故障をおこし救助を求めてきた原岸水産株式会社所属の原岸水産株式会社所属の原岸水産株式会社所属の

駅南商店会発足

常磐、会長に九頭見氏

常磐市駅南商店会結成式は十六日商工会館で開き、会長に九頭見周助氏を選び発足した。これにより同市には上町、表町、横町、東町、駅南の五商店会が出来たもの。役員は次のとおり。

▼会長＝九頭見周助▼副会長＝佐藤正二、立谷時敏▼会計＝右酒、宮木稔▼理事＝熊坂友喜、加古浦、長岡繁馳、古川淳、草野栄、碧猛郷、松原兼雄、松谷正治、池田邦兼、矢内平八、嘗柳由尾、丹野一夫、鈴木酒長

新規加盟は一カ月千二百円、脱退は一カ月千二百円。資格❶内郷市に住居しているもの❷毎月の収入から扶養家族一人につき千円を控除した額が家賃の六倍以上、十五倍以下のもので独立の生計を営み、家賃を払う能力があるもの❸すでに国民又は公営住宅に居住する親族があるもの。募集期間は九月十二日から十月十日まで、入居期日は十一月下旬の予定。

市営住宅入居者募集

内郷市で

内郷市では三十五年度の市営住宅入居希望者の受付を次の要領で募集する。場所は同市小島町宮前地内で第一期木造平屋十戸と簡易耐火構造平家九戸で家賃は木造が一カ月千八百円、簡易耐火構造が一カ月千二百円。

鉄北線近く着工

炭鉱離職者事業で

鉄北線西線と直結する重要幹線、平市郊宮町から平橋までに至る延長四百八十米、幅員十五米の道路新設工事の入札は十七日行い、三百二十九万七千円で磐城土建に落札、十一月上旬に着工来年三月末までに完成することになった。この工事は炭鉱離職者救済事業で延べ三千六百人を使用する。また来年度は北白ゴミ焼き場前まで約七百米を継続事業で行なうことになっている。

一二五〇〇セル付クローター
タイヨー輸業商会
電五五四八

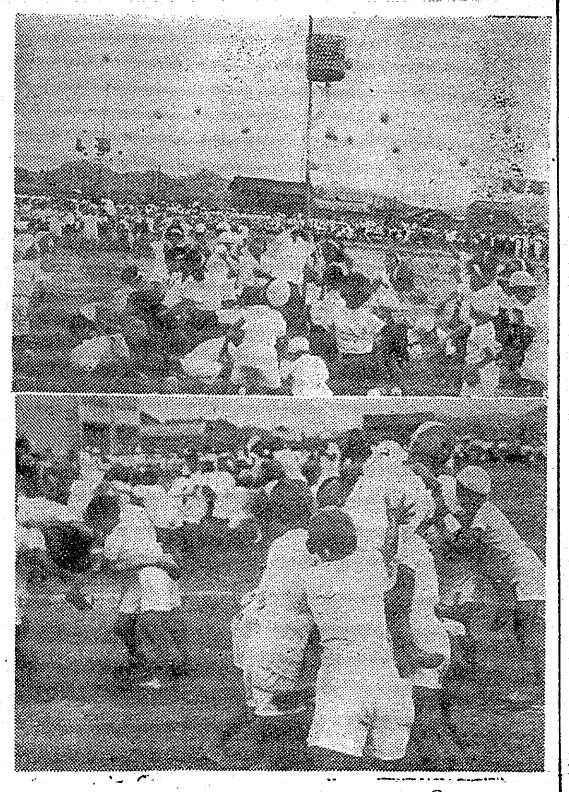
一中生徒会役員決る

平一中生徒会は十六日開き、後期役員の選挙を行い、次のとおり決った。

▼会長＝高木芳雄（三年）▼副会長＝白土道雄（二年）越智靖夫（二年）▼書記＝渡辺則芳（三年）七海和男（二年）▼会計＝根本雅（二年）高久信子（二年）

平市で自衛官募集

平市総務課では第三次陸海空自衛官を募集している。年令は十八歳から二十五歳までの中卒程度の学力を有する者。試験は十一月初旬平市公会堂で行う。採用人員は二十五人、初任給は食糧、被服費をのぞいて六千八百円のほか公務員なみの諸手当がある。



意気上る運動会

小雨も遠慮がちに

きのう十八日の日曜日は各地で実りの秋を祝福する運動会が開かれた。この日午前中はカラリと澄みきった好天だったが、昼ころから雲を通してパラパラと雨が降ってきた。

それでも各校のピチピチとした若鮎のような児童たちが懸命に競技を行なっていた。とくにことしはローマ・オリンピック、四年後の東京オリンピック競技が目立っていた。平三小では低学年の紅白球入れをはじめとして三小健児を装飾する名物「騎馬戦」が大盛会裏に勇ましく戦われたほか、恋のページェント「シンデレラ姫」ご臨席による「平三旗のもとに」などを次々と披露して、会場を明るくした父兄たちからヤンヤの拍手を浴びた。

また市内の老人を特別席に招待されてクラウンで行われる各競技に身体を乗り出して声援を送るなどこころ温まる風景もみられた。

……（写真は紅白球入れと騎馬戦）

風流深川唄

ひばりと鶴田が競う

☆物語☆

花火が三つ、夜空にあがって、深川富岡八幡の祭礼賑う門前仲町界隈灯並び立つ此のあたり、遊び疲れる眠わいの声が川風に揺らいで散つてゆく、大正八年の夏ごろ。

深川名物のつとに謳われて、吉いのれんを守る料理茶屋〝深川亭〟に祭りの流れに集う客足も、今宵は一きわ賑く、女衆の座敷を行き交う姿、何んとなく心ぜわしい夜である。

おせつはここ、深川亭の看板娘生ツ粋の深川客に加えて、持って生れた美しさが深川亭の看板をこの二人、行く末は夫婦の盃を交わす仲。花火の音はじけるようにあがる夜の空、二つの影が、七色の火を追って一つに寄った。

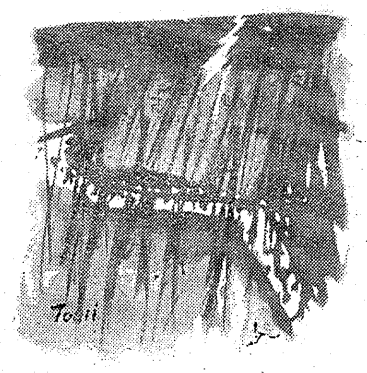
祭りの一夜があけた朝、思いがけない運命が深川亭にまい込んだ。人気大関の危急を救うために、深川亭の看板娘おせつが一肌脱ぐことになったのだ。

おせつ涙し、だが長蔵の息にも泌みこんでいる職理人前の血は…

女房を早くしてした父の伊三郎はお節の気な性格に励られて身代をのばす深川亭を見つめていたが、内寨常磐料理師匠文字力を知ってからは、店の切り回しは殆どおせつにまかせていた。気丈な心臓ムーといってもおせつも所詮は女、おせつを倒れとなく力づける板前の長蔵、伊三郎に受けた恩をしっかりと胸にたたみ込んで望月一つに命を賭けて来た男だが、この二人、行く末は夫婦の盃を交わす仲。花火の音はじけるようにあがる夜の空、二つの影が、七色の火を追って一つに寄った。

祭りの一夜があけた朝、思いがけない運命が深川亭にまい込んだ。人気大関の危急を救うために、深川亭の看板娘おせつが一肌脱ぐことになったのだ。

おせつ涙し、だが長蔵の息にも泌みこんでいる職理人前の血は…



孝子愚庵伝記

白い眉（まゆ）　7

須藤春峰　作
吉田富美　画

（戊辰戦争）（四）

「はい。はい」

と栗原にうつむきながら聞いている。

「妙に心細い。何となく淋しい気持ちの湧くのを覚えながら……」

これが今生の別れとなろうとは……

「……父からもよろしく御引き廻しを願いたいと申しました……」

谷川瀬の加勝の陣では、甘田の倅久五郎が来たという知らせに、

「十五才でございます」

「よしよし、心得た。ところで年は十六、いや七であったかな？」

「……おう、やって来たな。お母さんの病気は、その後どうじゃ」

「おかげさまで大分快くなりました」

「そうか、それはよかったな…」

ひどく上機嫌である。

洋服の上に陣羽織を着た小父の姿を久五郎は畏敬の眼で仰ぎながら

「五にしては立派な体格じゃな。それにしても、前髪で年が分らくていかん。元服せい。元服せい」

逸左衛門は久五郎を縁先に坐らせ、隊士に命じて御刀をとらせると、手づから前髪をそぎ落してやる。

ガリガリやられてヒリヒリ疼む月代を竿手でポンと叩くと

「それ、立派な男になったぞ。はつはつは」

久五郎は思わず頭を抑えながら、きまり悪そうにモジモジしている。

その翌日、久五郎は加勝の小父の世話で鎌田川関門詰にまわされたが、間もなく新川口の関門へ詰替になった。

此処は平城にとって南面の要路であり、七月一日の激戦地であるから、大砲数門を据えて精兵がものものしく防備にあたっているが、もし敗退した敵はその後一向姿を見せず、しばらくは休戦の状態である。

久五郎は上司の命をうけて弾薬を運んだり、連絡の使い走りをしたりしている間も

「兄さんはどうしたろう。お母さんはもう快くなったから？」

いつもその事が頭から離れない七月十三日平落城

この日は濃霧のため一寸先も見えない程であった。西軍は十二日の午前過ぎ小名浜を突破して、本隊は陽本方面より一部は十作から鹿島へ、他の一隊は石から豊間に進んだ。薄霧から下高久に入ったのが午前五時、中山に攻め来たのが七時頃である。中山の台場には大砲を据えて敵に来たらば下カンとブツ放す作戦であったが、あまりの大軍に恐れをなして逃げてしまった。

NHK第1【今晩の】ラジオ福島

6.05 ほえろアンデス
30 1丁目1番地
7.15 ニュースハイライト
30 三つの歌
8.00 お父さんはお人好し
30 私は誰でしょう
9.10 ニュース解説
25 演能ホール
10.10 時の動き
30 多元リレー
11.10 プ音相関連へ
30 「流行歌を作る」

6.00 あばれ剣法
30 福ちゃん
7.10 録音ニュース
15 人間夜話
8.00 お笑い演芸会
30 ミュージックプレゼント
9.00 お楽しみ演芸会
30 連続劇「夜光虫」
10.05 連続浪曲
30 バーベキューリズム
11.05 劇「吉女和の宮」
25 レ盤アワー

【明朝】

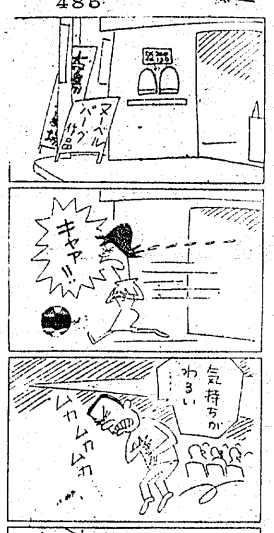
5.05 村のアンテナ
40 市場往来
6.15 風馬鈴薯産地
40 大学の自治
7.37 ひとくちメモ
45 朝の訪問
8.05 ベートベンピアノ協奏曲
30 夫婦天気図
9.05 夏家具のしまい方
35 洋装「中年向き家庭着」

5.05 録音風物誌
30 農家の皆さんへ
6.05 農家の手帖
55 歌謡学校コーラス
7.10 モーニングエコー
15 歌のない歌謡曲
8.05 お早よう皆さん
30 ママの日記
9.00 陽気な山彦さん
15 チヤツカリ・ウツカリ夫人

NHK【今晩】テレビ

6.00 こどもニュース
30 世界見たまま
7.15 バス通り裏
30 私の秘密

8.00 歌の広場
30 お父さんの季節
9.00 現代人間模様
30 演芸クラブ



今晩の映画

（平市）
◎世界館 二十六日迄 ムービータイムス ナイトショー 0番号の家
◎ひかり座 十九日迄 スリ黒いオルフェ
◎楽楽館 十九日迄 宝みなき遊楽 底抜け宇宙旅行 タイム・マシン
◎東映劇場 二十日迄 向う見ずの三百間 白い粉の恐怖 花の吉原百人斬り
◎三友東映 二十日迄 新春十番勝負 くらやみ坂の死美人 続べらんめえ芸者
◎民劇 二十日迄 大学の山賊たち お祖ちゃんに任しとき
◎平日活 二十日迄 十代の狼 小雨の坂に散った恋 一四狼
◎平鑑賀用劇 十九日迄 太陽の墓場
◎平新東宝 二十日迄 日本ロマンス旅行 花嫁吸血魔
（内郷市）
◎銀映館 二十日迄 小笠原自衛官 女の坂 赤い夕陽の渡り鳥
◎第一いわき 二十日迄 霧の中の渡り鳥 女は抵抗する 青い野獣
（常磐市）
◎三園座 二十日迄 三人の鉄砲 断崖に立つ女 切られ与三郎
◎常磐座 二十日迄 突進大路 次郎吉鬼次千両小判 若き千両傘
◎常磐日活 二十日迄 あじさいの歌 邪魔者は消せ 素っ飛び小僧
（勿来市）
◎中央館 二十日迄 浅草姉妹 密航Qライン 接吻泥棒
◎植田館 二十日迄 皇室と職争とわが民族 出世無用 江戸祭り一番娘
◎植田ロマンス 十九日迄 荒鷲の翼 偽将軍
◎菊多館 二十日迄 怪傑黒頭巾 少年探偵記 青空街道

音楽と喫茶
10時より～5時まで
セシボン
（喫茶部）
常磐市桜木町通り
TEL2202

開店
待望の郷の場所 オアシスが誕生！ お気軽にお出まき
トリスバー
オアシス
平市田町（平日活通り）

タイヤはフジクラを！
オートバイ・スクーターの タイヤは是非メーカー品で
勝者タイヤ・オーシタイヤ 福島県総代理店
グッドイヤータイヤ
各銘タイヤ 元卸
日新ゴム商会
平市五百十一 電二九七八

（営業種目）コンクリートパイル 鉄骨杭 発動杭 発機杭 シイトパイル 松杭鉄筋コン工事一式請負施工
常磐基礎工業株式會社
（旧名組織）
鷹揚総社長 鈴木剛之
本社 内郷市小島町 電（平）四三七〇
営業所 常磐市 秋田市 八戸市 釜石市

秋場所の優勝盃は誰に？
み：見てくれ今度の土俵ではど：どうせやるなら十五勝り：力士の夢は横綱よやっ：やるぞ秋場所：張切って
特製お記念 コロッケ 一コ八円 串カツ 一本九円 魚フライ 一枚十円 メンチカツ 一枚十円 とんかつ 一枚四十円から
常磐交通待合室へ通り抜けられます
緑屋
勢平 伊坂
平市中央通り 電2794
平市一丁目 電2539
支店 本店

祝 川内第一小学校落成

豊穣の秋を迎え本日ここに、県当局をはじめ工事関係者、村民各位の協力を得まして、本村第一小学校の新築落成を見ましたことは本村児童教育のために感激に堪えません。本校は大正九年建設によるもので、老朽化し改築の急を認めてはいましたが財政規模をかん案すると同時に、関係諸般のご理解と協力が結集されたたまもので、環境の整備、施設の充実と相まって更に一段の教育生産向上に役立つことは、学校管理者の立場として茲に厚く謝意を表します。

昭和三十五年九月十九日
川内村長　河原武

工事請負人
野田建設工業所
本店 福島市

工事設計監督
木村長寿
大久村字小久